



家庭教育支援事業研修

「PTAと学校の連携による子育て支援の推進」

子どもの心に響く叱り方

生涯学習課 生涯学習専門アドバイザー

岡野敏郎



A君の困った生活

小学校4年生のA君は、学校から帰ってくるとタブレット(スマホ、パソコン)をすぐに使い始めます。目的はゲームをしたり、YouTubeを見たりすることです。

宿題や明日の準備など、やるべきことが後回しになるため、寝る時間が遅くなりがちです。

あなたならA君にどのように話をしますか。



子育て中の皆さんの現状



◎皆さんが生まれたのは・・・昭和後半～平成1桁台

この頃は、厳しく子どもと向き合うことが立派な子育て

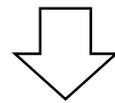
→否定的な言葉、家を出される、ゲンコツなど

◎2000年(平成12年)制定の児童虐待防止法

子どもの権利と安全を守る法律

→子どもが泣く、親がどなると通報されることも

子育て環境が変化！



皆さんが育った環境と、今の子育て環境は大きく違う

無理をしない子育て



◎うまくいかないと落ち込んだり、ストレスを抱えてしまうなど大きな負担になっていませんか？

◎皆さんはすでに全力で子育てに向き合っています！

誰でも失敗するし、うまくいかないこともあります
完璧な子育てを目指さなくて大丈夫です

まずは、親(皆さん)が幸せであることが大切です

現代で求められている子育て



- ・穏やかなコミュニケーションによる子育て
- ・子どもが自発的に行動できるような子育て
- ・ストレスを溜めず、子どもと良い関係を築ける子育て

そのために

褒めましょう ゆっくり構えましょう
と言われても現実には・・・

⇒なぜなら、皆さんが育った環境と違うから

子どもの心に響く叱り方



子どもにとっては

子どもが納得できて、自分から改善しようとする話し方

皆さんにとっては

イライラしたり、落ち込んだり、嫌な気持ちにならない
子どもとより良い関係を築ける



⇒次の方法を試してみてもいいかがでしょうか？

場の設定をする・・・集中して話ができるように整える



①子どもの近くに行く

②子どもと同じ目線にする

例えば しゃがむ 座る など

③ゲーム機・タブレット・スマホなどはスイッチオフ

⇒話を聞いてくれる環境になったところで話してみても

子どもの気持ちに寄り添う(子どもの気持ちになって話す)



①家に帰ったら、好きなことしたいよね

②YouTube(ゲーム)おもしろいものね、つい見ちゃうよね

③リラックスしたいよね

⇒子どもの気持ちに共感する言葉かけをしてみてください

代わりに行動を提案する＋皆さんの正直な気持ちを伝える



①宿題や、明日の準備をしてからYouTubeを見ない？
(ゲームしない?)

②やるべきことをしてからYouTubeを見る(ゲームする)なら
お母さん・お父さんは安心なんだ

ずっとYouTubeを見ている(ゲームしている)と
あなたの体に悪いから心配なの

話を聞いてくれたことを褒める



素晴らしい行動＝褒める だけではなく
普通のこと(話を聞いてくれたこと)ができた＝褒める

- ①お母さんの話を最後まで聞いてくれて嬉しかったよ
- ②YouTube(ゲーム)との付き合い方について考えてくれたね

努力したこと 行動の様子 悩みながら試行錯誤したこと など
取り組みの過程を認めることが大切です

子どもと一緒に行動してみる



時間に余裕のある時、ぜひ一緒に行動してみてください

例えば

読書しているお子さんの近くで、親も読書

宿題のお手伝い(丸付けもあれば)

国語の音読をそばで聞く



子どもの心に響く叱り方 まとめ



◎いつもうまくいくわけではありません

10回話してみて、3~4回うまくいったらすごい！

全く怒鳴らないことを目指さない。前より少なくなったらすごい！

◎問題発生後の事後対応よりも、できれば予防対策をしてみて

親子ともに余裕がない時よりも、気持ちが落ち着いている時の方が話をしやすいです

大切なこと

皆さんも人それぞれなように、お子さんもそれぞれ考えがあります
他のお家の様子と比べないで、親子の対話を試してみてください